

建築士試験別・指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数(2017年度入学)

指定科目の分類 (取得単位数)	科目名	推奨学年	単位数	必要単位数					
				一級建築士試験		二級・木造建築士試験			
①建築設計製図 (単位)	建築デザイン1・同演習	1年	4	7単位以上	5単位以上				
	建築デザイン2・同演習	1年	4						
	建築デザイン3・同演習	2年	4						
	建築デザイン4・同演習	2年	4						
	建築設計論1・同演習	3年	4						
	建築設計論2・同演習	3年	4						
	デジタルデザイン演習	2年	2						
	建築設備製図	3年	2						
	建築構造製図	3年	2						
②建築計画 (単位)	住宅論	2年	2	7単位以上	7単位以上				
	空間計画総論	1年	2						
	コミュニティ計画	2年	2						
	地域施設計画	2年	2						
	現代建築の思潮	3年	2						
	西洋建築史	3年	4						
	日本建築史	2年	4						
③建築環境工学 (単位)	建築環境計画	1年	2	2単位以上					
	建築環境工学・同演習	2年	4						
④建築設備 (単位)	建築設備	3年	2	2単位以上					
	空調調和設備計画	3年	2						
	空調調和設備設計演習	3年	4						
	給排水設備設計演習	4年	4						
⑤構造力学 (単位)	建築構造力学1A・同演習	2年	4	4単位以上	6単位以上				
	建築構造力学1B・同演習	2年	4						
	空間構造解析・同演習※	3年	4						
	建築構造力学2・同演習※	3年	4						
⑥建築一般構造 (単位)	建築鉄筋コンクリート構造・同演習※	3年	4	3単位以上					
	建築鋼構造・同演習※	3年	4						
	建築耐震工学※	3年	2						
	建築基礎構造	3年	2						
⑦建築材料 (単位)	生産・構法実験	2年	2	2単位以上					
	建築材料	3年	4						
⑧建築生産 (単位)	生産・構法	1年	4	2単位以上	1単位以上				
	建築施工	3年	2						
⑨建築法規 (単位)	建築法規	2年	2	1単位以上	1単位以上				
	都市と制度論	4年	2						
⑩その他 (単位)	空間測量実習	1年	2	適宜	適宜				
	建築入門	1年	2						
	建築美学	3年	2						
	まちづくり論	3年	2						
	ランドスケープ	4年	2						
①～⑩の合計単位数(単位)				60 単位以上	50～59単位	40～49単位	40 単位以上	30～39単位	20～29単位
必要な実務経験				2年	3年	4年	0年	1年	2年

(確認手順)

①～⑩の各区分の中で取得した単位数を合計する。

それぞれの単位数が右覧の必要単位数以上であれば、各欄に○を付ける。(二級・木造建築士試験では②～④や⑤～⑦の合計でチェックする)。

①～⑩の合計単位数についてもチェックする。

○が上から下まで続いた列の最下行に書かれた年数が、受験資格を得るために、卒業後に必要な実務経験年数になる。(1つでも○が付いていないとダメ)。

(注意事項)

※が付いた科目は建築構造力学1A・同演習または建築構造力学1B・同演習を習得していないと単位が取れない先修条件が付いている。

→一級建築士受験のためには、建築構造力学1A・同演習または建築構造力学1B・同演習は、いずれかを絶対に修得しなくてはならない。

建築法規あるいは都市と制度論の何れかを修得しないと、建築士の受験資格は得られない。